

# おすすめ コンポスの紹介

## コンポスト

微生物（菌ちゃん）により生ごみを見えなくなるまで分解してもらおうしくみ。ご家庭の生ごみなら何でもOK。（鳥骨や貝殻などは×）。生ごみを小さく切って中央に埋めるだけ。できた“たい肥”は菌ちゃんと栄養がたっぷりで力強い野菜が育ちます。電気を使わない地球にやさしい循環生活！

コンポストは英語で“たい肥”ですが日本ではたい肥を作る容器や設備をそう呼んでいます。

### ダンボールコンポストセット & 基材のお申込先

日野市立石田環境プラザ  
TEL:042-584-3317  
※月曜・年末年始休館

セット内容：・段ボール箱・布カバー・底敷き  
・基材：[竹パウダー9L & もみ殻くん炭5L]

### 生ごみ処理機補助金申請先

日野市ごみゼロ推進課  
TEL:042-581-0444  
※購入前に補助金対象になるかお問い合わせください。

### ●コンポスト相談●

#### ひの・まちの生ごみを考える会

ホームページ：[なまごみへらそ!](#) 検索

メール [info@namagomi-heraso.com](mailto:info@namagomi-heraso.com)

ひの・まちの生ごみを考える会メール

ひの・まちの生ごみを考える会 LINE 公式アカウント

Youtube 動画ダンボールコンポストの始め方



補助金  
適用

### 日野市の ダンボールコンポスト



大きさ：ダンボール箱（120サイズ）  
コスト：日野市民補助金適用 500円（配送込）  
※市外の方 2,440円（配送別）

置き場：屋外。雨に濡れない場所  
軒下・ベランダなど

入れる量：少量～500g/回

メリット：ほとんどコストがかからず手軽に始められる。基材に竹パウダー&もみ殻くん炭を使用し軽い。  
デメリット：毎日や大量の生ごみを入れると臭い・虫のトラブルが発生しやすい。濡れると劣化しやすい。

投入期間：生ごみの量によるが3ヵ月～12ヵ月

補助金  
適用

### バック型コンポスト



大きさ：メーカーによる 容量約30L バック

コスト：メーカーによる 約5,000円～

置き場：屋外。雨に濡れない場所

入れる量：少量～500g/回

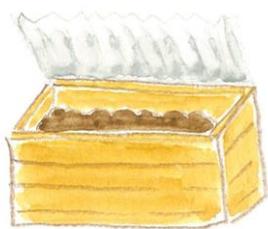
メリット：持ち運びもでき手軽に始められる。たい肥化後はそのまま野菜・花を育てられる。

デメリット：初期費用・ランニングコストがかかる。毎日や大量の生ごみを入れると臭い・虫のトラブルが発生しやすい。

投入期間：生ごみの量によるが1.5ヵ月～3ヵ月

補助金  
適用

### 消滅型コンポスト (キエーロ)



大きさ：メーカーによる 木箱容量約30L～120L

コスト：メーカーによる 約1万～6万円

置き場：庭・ベランダなど日当たり風通しのよいところ

入れ方：少量～800g/回

調整すれば連日でも入れられる。

メリット：ランニングコストがあまりかからず中の交換不要。かさが増えない。比較的失敗しない。生ごみ消滅型でたい肥ができないので不要な方により。長期使用できる。

デメリット：大きく重いので場所をとる。初期費用が高い。たい肥はできない。

投入期間：生ごみの量によるが数年間

補助金  
適用

### 設置型コンポスト



大きさ：容量約100L～500L

コスト：約2,000円～10,000円

置き場：畑・庭

入れ方：その時にた量。臭いや虫が気にならないなら大量でもOK。

メリット：ランニングコストはあまりかからない。たくさんの生ごみ・畑の雑草・残渣入れられる。長期使用できる。

デメリット：大きいので切り返しが大変。腐敗しないよう土をかぶせる。

投入期間：容器の大きさ・生ごみの量によるが容器がいっぱいになるまで。数ヵ月～数年

本格的に焼却ゼロを目指している方！大きいので量や回数も多め。生ごみが多い方や畑をやっている方におすすめ！